

⑧ 支川（武茂川）

那珂川の左岸から合流する武茂川は、八溝山に源を發し、大田原市（旧黒羽町）、那珂川町（旧馬頭町）を流れ下る。武茂川の源流域は、広葉樹の天然林が分布するほか、林業が盛んであり、スギ、ヒノキの人工林で構成されている。源流域の森林は、水源林として重要な役割を果たしているため、豊かな森づくりが図られている。

武茂川は那珂川に合流するまで集落の間を、水田を潤しながら流れ、中流部には「雲巖寺」、下流部には「御前岩」と呼ばれる景勝地がある。

その水は澄んでおり、水量も豊かであるため、アユ、ヤマメ、イワナ（放流したもの）の釣り場として人気が高い。また、水辺にはゲンジボタルが生息し、ムカシトンボ、ムカシヤンマ、クロサナエなども見られる。



緑が映える武茂川（雲巖寺前 平成18年6月）



コゴメウツギ（バラ科）



明るいスギ人工林の林床

図4-48 武茂川の自然